

## 2学期の抱負

1年2組 吉岡

夏休みを待っていたかのように梅雨明け宣言があり、17日間の短い夏休みが元気な蝉の鳴き声とともにスタートしました。毎日、部活のために学校に行くという経験を初めてしました。暑い中、先輩や仲間と汗を流す楽しさや苦しさを味わい、自分が中学生になったことを改めて実感しました。あつという間の夏休みで8月半ばに2学期を迎えるという不思議な感覚を覚えながらも、私は、3つのことを意識して生活していきたいと思っています。

1つめは、勉強に取り組む姿勢です。小学校と比べ、すべてが難しくなり、授業の雰囲気も変わりました。初めての定期テストでは、驚きや緊張、そして不安しかありませんでした。テスト範囲の広さ。テスト本番の緊張感。勉強したことを忘れてしまわないか心配になりました。テストが返されるときは、心臓の音が自分に聞こえるくらいドキドキしました。テストの点数を見て、一喜一憂。次こそは、自分が納得する点数をとれるようにしたいと思いました。そのためには、日頃の授業がとても大切なのだとこのことに気がつきました。ただ聞くのではなく、積極的な気持ちで真剣に臨んでいきたいです。そして、家庭学習も充実させて、テストで生かしていきたいです。

2つめは運動、特に部活動です。私の所属する女子テニス部は、夏休みに入ってすぐに3年生の引退式がありました。一緒に活動する時間は、とても短いものでしたが、いろいろなことを教えていただきました。直接言葉をかけていただいたこと、先輩の活動する姿から教えられたことなど大切なことばかりです。私は、3年生のように後輩から頼られ、明るく優しい先輩になりたいという目標ができました。そのために、苦手な運動にも一生懸命取り組みたいと思います。また、先輩や仲間とのつながりを意識して、人としても動けるようになりたいと思います。

3つめは学年としての取り組みについてです。新しい仲間と少しずつ上柴中生としての自覚が生まれてきました。1学期は、期末テストに向けて、家庭学習キャンペーンとコロナウィルス感染防止のためのキャンペーンを行いました。最初は、家庭学習のページ数が少ないクラスがあったり、ソーシャルディスタンスを守れていなかったりしました。けれども、学年委員で呼びかけをすると、みんなの意識が変わってきて、だんだん目標を達成できるようになってきました。伝えることの大切さと受け止めてもらえた喜びもあり、学年委員である私も頑張ろうという気持ちになりました。学年全員で一つのことに取り組むことでみんなと協力するという一体感を味わうことができました。2学期も新たな課題に向けて、みんなで頑張って、全員で目標を達成できるように協力していきたいです。

協力していくうえで必要なことは、お互いに思いやりということを支さまざまな活動の中で気づきました。私は、この学年を思いやりのある集団にしたいと思っています。

2学期は、本来あるはずの大きな行事が行われません。だからこそ、基本的なことをしっかりと見直して生活していきたいと思っています。そして、制限された環境の中でも、みんなで工夫し協力して、できることを見つけて頑張っていきたいと思っています。